

〔報告〕

第53回全国社会教育研究大会京都大会について

平成23年11月8日
社会教育課

第53回全国社会教育研究大会京都大会について、下記のとおり報告します。

記

1 研究主題 「社会的親」の創出による「公共力」の醸成
～見て見ぬふりする社会から、おせっかいな社会へ～

2 期日
平成23年9月21日(水)～22日(木)

3 場所
全体会 京都会館 第1ホール
分科会

分科会	場 所	テーマ
第1分科会	長岡京市立中央公民館	子どもを育てる
第2分科会	宇治市文化センター 宇治市中央公民館	地域を育てる
第3分科会	ギャラリーかめおか	自分(社会教育委員)を育てる
第4分科会		親を育てる
第5分科会		組織を育てる

4 参加者
約1,100名

5 内容

(1) 全体会

ア 基調講演

演題「度重なる震災からわたしたちが学ぶべきこと」
講師 鷺田 清一(前 大阪大学総長・大谷大学教授)

イ シンポジウム

テーマ「震災を受けて社会教育は何ができるのか？」
コーディネーター 杉本厚夫(京都府社会教育委員連絡協議会会長)
シンポジスト 内容正明(京都大学名誉教授)
宮本勝浩(関西大学大学院教授)
宮嶋泰子(テレビ朝日アナウンサー)
菅原敏元(宮城県社会教育委員連絡協議会会長)

《特色》

- 東日本大震災を受け、大会の協議テーマを「被災地の復興に向けての取組を契機として、日本の地域社会をつくっていく上で社会教育に関わる者が何をしていくべきかを熟考する」とし、基調講演、シンポジウムをとおして具体的な取組事例の紹介、提案等がなされた。
- 今回、初めて基調講演とシンポジウムを一般公開し、約50名の一般参加者があり、これからの社会教育委員の活動や社会教育の在り方を考える上で意義深いものとなった。

(2) 分科会

ア ポスターセッション

イ パネルディスカッション

ポスターセッションとは：取組内容などを1枚にまとめたポスターを掲示し、参加者が発表者に気軽に質問したり、議論をしたりする発表形態の一つ。

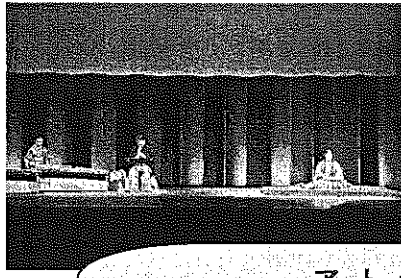
《特色》

今回、初めてポスターセッションという方式を取り入れ、5つのテーマに即した36の発表があり、これからの地域づくり等を考えていく上で貴重な情報交換の機会となった。

《全体会：京都会館第1ホール》



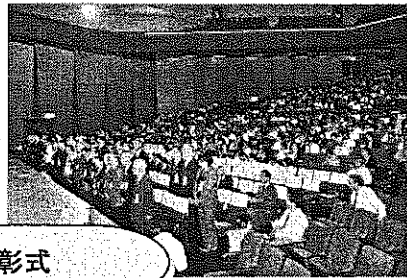
受付風景



アトラクション



開会行事・表彰式



基調講演



シンポジウム



次年度開催地アピール

《分科会：長岡京市立中央公民館・宇治市文化センター・宇治市中央公民館・ガレリアかめおか》



受付風景



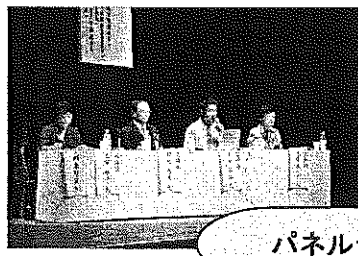
物産販売



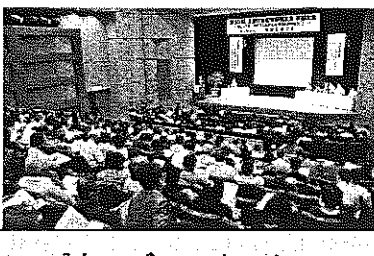
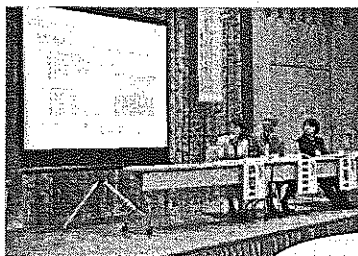
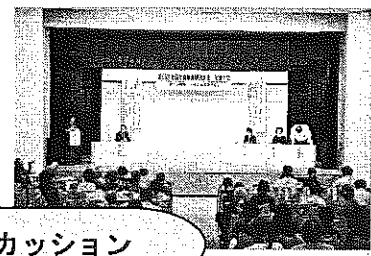
ポスターセッション



ポスターセッション



パネルディスカッション



パネルディスカッション

